

東区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称		実施主体			
ひがし・子どもすこやか成長プロジェクト事業		企画総務課			
事業目的	事業効果	活動指標	H30	R1	R2
東区内の市立小・中学校等と連携の上、子どもたちに対して、ネットやスマホを通じた犯罪・トラブル被害の防止や長時間利用による睡眠時間減少・学力低下などの課題に対するスマホの適切な利用法を啓発推進し、子どもたちの安全で健康的な生活習慣の定着を図る。	啓発リーフレットの配付により、子どもたちのスマホ利用のリスクや基本的な生活習慣について、保護者や子どもの気づきを促す。	「家族で考えよう中学生活とスマホ」リーフレット配付数(部)	980	1,003	972
		「家族で考えようスマホの危険性」リーフレット配付数(セット)	1,216	1,097	1,121
①妥当性	②協働の視点	③インパクト	④効率性		
◎ 東区地域全体で子どもの成長を支え、健全育成の充実を図るためには、区が中心となり実施すべき事業である。	◎ 地域全体で取組を展開するため、リーフレット等の作成・配付に小・中学校関係者、青少年指導員、主任児童委員等にご協力いただき、協働の度合いが高いと考えられる。	○ 学校を通じて保護者にリーフレット等を手渡したりすることで、地域全体で取組を展開していることをPRできる。	○ リーフレット等の作成・配付において、区役所や市立小・中学校、青少年指導員、主任児童委員等と連携することで、それぞれの立場を踏まえた取組を展開することができる。また、学校の個人懇談会等の機会を通じて資料を保護者に配付することで、効率・効果的に事業を展開することができる。		
⑤自立発展性	総合評価				
△ 地域全体で子どもの健全育成に取り組む意識を醸成するために、行政の主導で実施すべき事業である。	○ 青少年指導員、主任児童委員や小・中学校PTAとの意見交換会を実施の上作成したミニのぼりを地域会館や子育てひろばに設置するなど、区域全体が子どもの健全育成に関わり、事業を推進している。 また、スマホのリーフレット等を地域の教育関係者と協働して作成し、学校を通じて効率・効果的に配付することで、スマホ利用における注意点周知にかかる有効な手段となっている。				
今後の方向性(課題、改善提案等)					
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px; display: inline-block;"> 拡充 継続 見直し 廃止 </div>	啓発リーフレットを小学校の懇談会や中学入学説明会等の機会を通じて配付し、保護者に直接的に手渡すことができた。 また、今後もアンケート等で聴取した保護者の意見を参考の上、本事業を継続する。				